



# 住宅地図の調べ方

(地歴調査など)

Map Room

地域史研究、自分史の執筆、不動産取引の「地歴調査」などで特定の住所から地図を細かく見る必要が生ずることがあります。そのような場合に「住宅地図」がよく利用されます。

## 住宅地図について

### 住宅地図とは

1棟、1戸ごとの戸別情報(居住者名・建物名・建物の平面形など)を記載している地図帳の総称です。「明細地図」「航空地図」とも呼ばれ、最大手の「ゼンリン」ほか数社が出版しています。

### 戸別情報について

表札や看板、郵便受けが主たる情報源なので、土地・建物の所有者を示すものではありません。また、大きな集合住宅・地下街などの場合、巻末に「別記」「名簿」などとして別にまとめて掲載されていることがあります。表札がない等の理由で情報がないこともあります。

### 縮尺・精度・家型枠

おおむね 1/1,500 前後で、普通の家1軒が独立して表現される縮尺です。縮尺はページごとに異なることがあるため、最近のものは各ページに明示されています。過疎地部分では 1/3,000~1/18,000 の図もあります。

初期(1960 年代)のものには絵地図のように縮尺・方位がデフォルメ(誇張)されたものがあり、現在のものでも編集の都合などで土地の境界や建物の形状が実状と異なることがあります。建物の平面形(家型枠)を表現しない出版社もあります。

## 刊行地域・収録地域

全国の市町村について刊行されています。

ただし、山岳部など過疎地の部分については収録されていない場合があります。

## 当館が所蔵する住宅地図

### 所蔵年代

住宅地図は、例外的なものが戦前に、今につながるものが 1950 年代初頭から出版されていますが、当館での所蔵はそれよりしばらく後からとなります。

東京 23 区、横浜など	→ おおむね 1960 年代以降
その他の都市部	→ おおむね 1970 年代以降
地方の市町村など	→ おおむね 1980 年代以降

## NDL サーチでの検索方法

キーワード欄に市町村名と「YG111」(標準サイズの場合)を入力し検索ボタンをクリックします。

### 閲覧方法

・全国の市・区部の最新版 → 開架(都道府県別に配列)

東京本館地図室でご自由に手にとってご覧になれます。

・上記以外(市・区部の旧版・町村部など) → 東京本館内書庫書庫に収めてある資料の閲覧には利用者登録が必要です。館内の利用者端末にて NDL サーチを検索して申し込んでください。

・1967 年までに刊行された住宅地図のうち、特に劣化の激しい資料を優先してデジタル化しています。国立国会図書館内の利用者端末でのみ閲覧できます。特段の事由がない限り、原本はご利用いただけません。

### 「禁電子式複写」のラベルについて

このラベルが貼られた住宅地図は資料保存上の必要から特殊な複写機を使用するため、即日複写の1回の申込が 30 頁以内に制限されます。上限頁数を超える複写は、1日3回の制限内で回数を分けてお申込みいただくか、後日郵送複写サービスをご利用ください。

利用の多い東京 23 区の旧版や、その他の地域でも刊行年が古いものについては、その多くが「禁電子式複写」扱いとなっています。

## ほかの図書館の住宅地図をさがす

当館の住宅地図コレクションは国内最大級のものですが、未納本などのため、出版されたものが全て揃っているわけではありません。調査対象地の図書館(市町村立図書館・県立図書館)にて、当館未所蔵の古い住宅地図を所蔵している場合があります。詳しくは各図書館へお問い合わせください。

## 住宅地図の豆知識

### 本のサイズ

住宅地図は B4 判よりやや大きめのものが標準サイズで、図書としてはかなり大判です。

### 「索引図」探している場所の図郭を特定する

巻頭に「索引図」があります。これは市町村図を本文の図郭(図番号)にあわせてマス目状に区切った地図で、その市町村内での大体の位置から掲載頁(=図番号)がわかります。

旧版の住宅地図の一部には、他の巻の図番号も参考として記載しているものがあります。その場合は、該当する他の巻をお申し込みください。(未所蔵の場合もあります。)

過疎地などで索引図に図郭の表示がない部分は、住宅地図化されていない未収録の部分です。

### 「町名索引」住所から図郭を特定する

巻頭に「町名索引」があり、町名から当該の場所が載っている頁(=図番号)が判ります。

### 住所が「町名索引」にない場合

町名索引にひろわれていない小字(こあざ)などの地名の場合や、地名自体が変わっていることも考えられます。県別に出版されている地名辞典(地図室では『角川日本地名大辞典』を開架)でお探しの地名について調べてみてください。

お探しの土地情報が「住居表示番号」ではなく土地登記上の「地番」である場合には、「ブルーマップ」(後述)をご参照ください。

## ■出版年と巻次

出版年(発行年)はふつう奥付(最後のページ)に明示されていますが、古いものには明示されていない場合があります。その場合、当館において表紙に記載されている巻次などから類推し、書誌データに「[1960]」などと補記しています。

また、資料の背ラベルには請求記号の後に表紙などに記載された巻次を補記しています。巻次の記載がない場合には出版年から類推し、書誌データおよび背ラベルに「[1960]」などと補記しています。ただし、巻次と刊行年は一致しない場合もあります。

なお、地図の記載内容の年次と出版年はおおむね一致していますが、古いものの一部では一致しない場合もあります。

## ■市町村合併

合併などで自治体名が変わるとNDLサーチでヒットしません。その場合は当時の名称で検索してください。

例)「つくば市」で検索すると1987年以降の所蔵しか見つからないが、合併する前の市町村名から検索すると、だいたい1980年前後からの所蔵が見つかる。

過去の合併については『全国市町村要覧』(地図室開架)などでご確認ください。

## ■ブルーマップ

土地登記上の「地番」を参照できる地図として「ブルーマップ」があります。これは登記所(法務局など)で登記簿などを閲覧するために必要な「(土地登記上の)地番」を「住居表示番号」から見つけるために作られた地図です。ゼンリンの住宅地図の上に、登記情報(地番や公図番号など)が青色で加刷されています。一部の巻では都市計画情報なども加えられています。

当館では1990年前後のものから所蔵しており、最新版を地図室で開架していますが、もともと改訂頻度が低いため、最新版でも5、6年前に発行されたものである場合があります。

また、全国すべての地域が発行されているわけではなく、都

市部でも京都市などは発行されていません。地方によっては「地番」が住所に転用されているところがあり、その場合には普通の住宅地図からおおよその場所が特定できますが、あくまで目安です。なお、住居表示からの地番照会は、管轄の法務局に電話で問い合わせる方法もあるようです。

## ■住宅地図以外による地歴調査

住宅地図に収録されていない地域や所蔵年代よりも前の時代を調べるのはかなり困難で手間がかかります。地歴調査というよりも地域史研究として行うことになるうえ、住宅地図並みの細かい情報は得られないことがほとんどです。

### ■「商工地図」

主に昭和の戦前期に作られた都市地図の一種で、主要商店・事務所などを書き込んだ案内図です。

地図室では、下記の複製版を開架しています。

・『昭和前期日本商工地図集成』2冊 地図資料編纂会  
柏書房 1987.6 (YP6-82)

「大日本職業別明細図」(427-40 デジタル化資料)の複製

・『中国商工地図集成』 地図資料編纂会  
柏書房 1992.10 (YP7-158)

### ■「土地宝典」(戦前期の地籍地図帳)

旧地籍図を地図帳の形に編集したもので、戦前期によく発行されていました。ブルーマップの戦前版ともいえます。主として登記情報を記載しており、当時の地番や一筆(土地取引単位)の形・土地の用途・土地の所有者名などがわかりますが、家屋の形状や居住者名はわかりません。

当館では明治期と昭和10年代のものを中心に所蔵していますが、収録地域は限られています。NDLサーチで「地籍図」「土地宝典」「地籍地図」などの単語で検索してください。

地図室では、下記の複製版を開架しています。

・『地籍台帳・地籍地図「東京」』第1-7巻 柏書房 1989.3 (DM125-E4)

・『東京地籍図』千代田区編(YU7-J2498)、中央区編(YU7-J2497)ほか 不二出版 2010.6-2012.11

・『地籍台帳・地籍地図「大阪」』第1-8巻 柏書房 2006.12 (YQ5-H87~94)

・『京都地籍図』第1-4巻 不二出版 2008.10 (DM125-J11~13, YU7-J1390)

## ■地籍図・公図をみる

不動産登記の一環で登記所(法務局)には地籍図(1/500)や公図(1/600 前後)が備えられています。これらは出版物ではないので当館にはありません。調査地を所管する地元の登記所をお尋ねください。これらの地図には一筆(土地取引の基本単位)ごとの区画と地番が記入されていますが、居住者や建物名は表現されていません。

### ■自治体の1/2,500基本図(白図, 白地図, 地形図とも)

各自治体が都市計画用に作成している基本図(1/2,500, 1/3,000~1/10,000 など)は、住宅地図につぐ大縮尺地図です。そのため個々の建物の形が地図上に表現されていますが、主要施設などを除き、戸別情報はありません。

当館における所蔵状況は、1960年代前後の古いものを中心に、一部自治体のものに限られています。自治体名などをNDLサーチに入力し、検索してください。

各自治体から購入できる場合もあります。詳しくは各自治体にお尋ねください。

### ■火災保険図(住宅地図相当の戦前地図)

戦前には今の「住宅地図」に相当する地図はほとんどありませんでしたが、保険会社の業務のために戸別情報がわかる「火災保険地図」が製作されていました。出版物ではなかったため、当館にはほとんど収蔵されていません。東京については、都立中央図書館で戦前版と戦後版を所蔵しています。詳しくは、都立中央図書館にお尋ねください。

## 国立国会図書館 地図室 (東京本館4F)

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/mavi/maps>

令和6年1月4日改訂